Sonica Instruments

SHAKUHACHI

Virtuoso Japanese Series

User's Manual

この度はSonica Instruments Virtuoso Japanese Series SHAKUHACHIを
お買い上げいただきまことにありがとうございます。
本物の日本の音を追求するこの製品を是非お楽しみください。
Sonica Instruments Team

はじめに

尺八とは

「真竹」という種類の竹の根元から7個の節を含むようにして作られている、とてもシンプルな和楽器です。息を吹き付ける音や息づかいまでをも包み込む幽玄な音色は、海外においてもその魅力に関心が集まっています。
基準管の長さが一尺八寸（約54.5cm）であることから尺八と呼ばれ、長短一寸刻みで半音ずつ異なる様々な管があります。
リードはなく、管の外側を斜めに削り落として作った歌口に息を直接吹きつけて音を出します。一般的に指孔は前面に4つ、背面に1つあり、指孔の開閉だけではなく、息の圧力、角度の変化によって出される多彩な音色が魅力で、近年ではクラシックやポップミュージックなど様々な音楽に取り入れられることも多くなりました。

Virtuoso Japanese Series

SHAKUHACHIについて

朗々と唄い上げる節回し、深くも繊細な息づかい、余白までも聴かせる日本の音の美学。
そんな尺八の魅力をリアルに再現する事を目標に開発されました。
尺八演奏家による珠玉の演奏を丁寧にキャプチャーし、あらゆる奏法を網羅。音程ごとに細やかに収録しました。
一般的な一尺八寸のD管と、低域をカバーする二尺三寸のA管を妥協のないレコーディング、Kontaktプログラミングによって、まるで目の前で演奏されている様な、最も尺八に近いソフトウェア音源として完成しました。ぜひ SHAKUHACHI をたくさんの音楽の中でお使いください。
そしてなにより私達は本物の邦楽器と演奏者をリスペクトしています。この製品をお使いになっていただくことが、皆様が本物の尺八の魅力を知るきっかけになれば幸いです。

製品の特長

尺八特有の演奏表現を生き生きと再現する、邦楽管楽器の発音メカニズムとインターフェースを開発
演奏が途切れることなく奏法の変化が可能なキートリガーコネクションを搭載

管楽器である尺八は、ロングトーンからユリ（ビブラート）、ユリから激しい息づかいにするなど、音を持続しながら刻々と奏法を変化させながら演奏します。このような尺八ならではの表現を実現するために新たにキートリガーコネクション機構を開発しました。　キートリガーコネクションは演奏中に割り当てられた鍵盤を弾くだけで多彩なユリ（ビブラート）、スフォルツァンド、ムラ息、打ち＆押しの指づかい、玉音（たまね）へと、ごく滑らかにアーティキュレーションを接続することができます。この動作は鍵盤を押している間は任意のアーティキュレーションへ何回でも接続することができ、まるで生きた楽器のように飽きることなく演奏することが可能です。

豊富なアーティキュレーション、5つのフレーズバンク、息継ぎ音を収録

縦ゆり、横ゆりなどのビブラート、スフォルツァンド、多数のムラ息表現、玉音（たまね）、コロコロ、カラカラなどをはじめとする25のアーティキュレーション、多彩なレガート奏法、音階上に用意されたショートインプロビゼーションなど、あらゆるアーティキュレーションを網羅し、それらをキースイッチでコントロール、MIDI鍵盤上で表現力豊かなリアルタイム演奏が可能です。

高精細な24bit、96kHzのマルチマイク収録

様々なマイクと色付けのないマイクアンプを使用し、高精細な24bit、96kHzでレコーディングされました（製品では24bit、44.1kHzで収録）。
製品ではDirect Mic、Overhead Mic、Room Mic、Stereo Mixの使いやすい4種類のマイキングでミキシングが可能です。

ブロウコントロール
音が出ないリードの息音のみの状態から力強い実音までコントローラーとアフタータッチでコントロールできます。
サンプルベースでありながらも、滑らかでダイナミックな息づかいを表現することができるため、さながらウィンドコントローラーのような感覚で鍵盤演奏が可能です。

オルタネート・レガート奏法機能
レガート演奏時、上昇音と下降音に対応するレガート音を自動で生成。尺八特有のレガート音を再現します。

アタリレガート奏法機能
レガート演奏時、音程が変わる瞬間に指づかいで音程をジャンプさせる「アタリ」のついたレガートを表現可能です。

押し、打ち奏法機能
ひとつの吹き音の途中に速い指使いを加えてアクセントやこぶしをつける押し、打ちを自由に加えられます。

スケールチューニング機能
尺八の演奏可能音域について、全クロマチックピッチを個別にチューニングできます。邦楽器本来のスケールピッチや各演奏者固有のピッチ感覚を使用することができます。設定した値はもちろん保存して使うことが可能です。

幅広い音域をカバーする一尺八寸と二尺三寸のハイブリッド化
代表的な一尺八寸のD管の尺八（D3～G6）と共に、低域をカバーする二尺三寸のA管（A2～B4）のサンプルを収録してあり、G2からB4までA管のカバー音域を調整することができます。これにより２種類の楽器間のキャラクターバランスを調整することが可能です（ロングトーン、タンギング、レガート奏法のみ）。

製品をお使いいただくにあたって

インストール
ご購入時のメールやご案内に従ってダウンロードとインストールを行ってください。

製品仕様
フォーマット：Native Instruments Kontakt 5.4 Full 以上（Kontakt Player非対応）
データ容量：NCW 5.71GB (WAV 11.4GB相当)

動作環境
Mac OS X 10.10以降推奨　Intel Core 2 Duo以上
Windows 7、Windows 8 またはWindows 10 Intel Core 2 DuoまたはAMD Athlon 64 X2
Mac、Windowsともに4GB RAM（6GB推奨）

・このライブラリーをお使いになるためには、Native Instruments Kontakt 5.4以上（Full版）が必要になります。（Kontakt Player非対応）
・製品のインストールには5GB以上のディスク空き容量が必要です。
・PC環境、動作環境はNative Instruments Kontaktの推奨動作環境に準じます。
・ライブラリーを快適に動作させるためには、より高速なCPUと、余裕のあるRAMメモリーを搭載したコンピュータに製品をインストールすることをお奨めします。

※ご使用時にインターネットを経由したユーザー登録が必要になります。

本製品はContinuata Connectアプリケーションを使用してインストールを行います。
本製品のデータにはウォーターマーク（電子透かし）が組み込まれており、不正なご使用、不正なアップロード及びダウンロードを追跡できるようになっています。別紙のLicense Agreementに同意の上、お使いください。

必要なMIDIコントローラー
サスティンペダルを用意することで、より SHAKUHACHI の機能を最大限に生かし、リアルな演奏を再現出来ます。

Sustain Pedal CC#64　よりリアルな演奏を可能にするために新たに開発された Key Trigger Connection 機能の ON - OFF に使います。
キースイッチで既に選ばれているアーティキュレーションから多彩なユリ（ビブラート）、スフォルツァンド、ムラ息、打ち＆押しの指づかい、玉音（たまね）へと、ごく滑らかにアーティキュレーションを接続することができ、よりエモーショナルな演奏が可能になります。

Quick Reference to SHAKUHACHI (PDF) を利用すると便利です。
尺八には特有の演奏方法、用語があるため、それらを和名とともに簡単にまとめた同PDFを見ながら作業することをお薦めします。

MIDI キーボードのレイアウト

C0〜A1 : アーティキュレーション Key Switch Zone

F#1, G#1, A#1 : レガート Key Switch

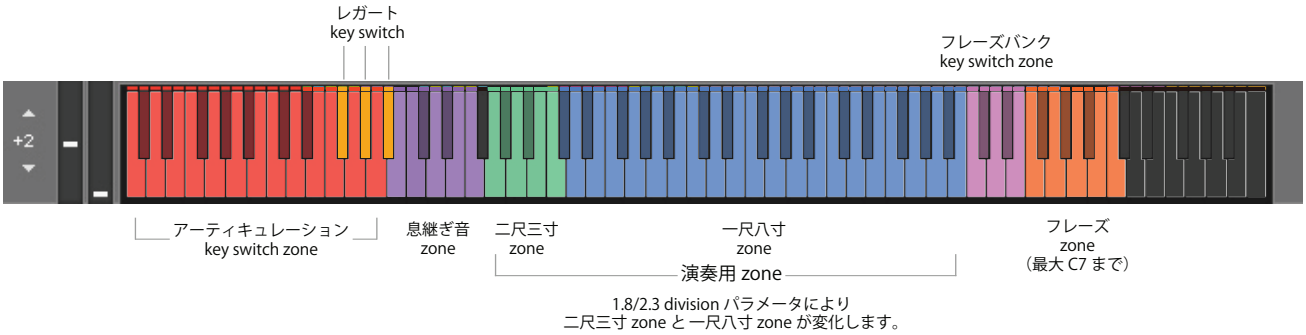
B1〜F2 : 息継ぎ音 zone

G2〜B5 : 演奏用 zone

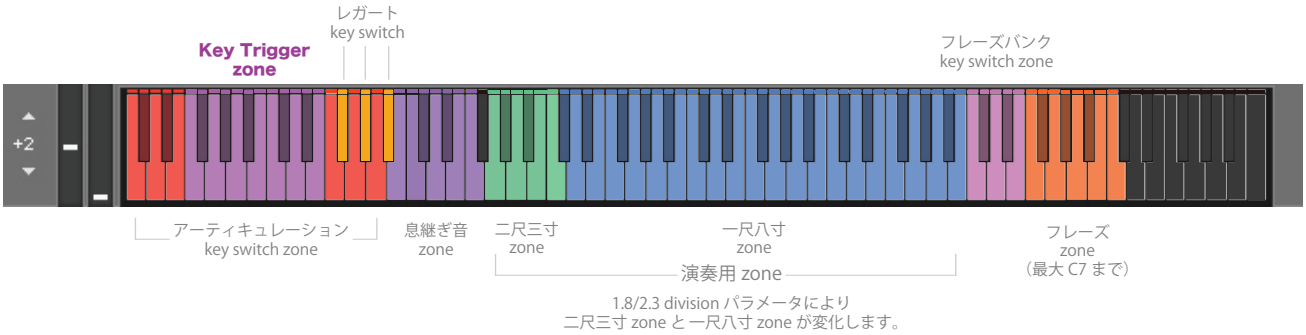
C6〜E6 : フレーズバンク key switch zone

F6〜C7 : フレーズ zone

F0〜E1 : Key Trigger zone (Key Trigger Connection ON 時)

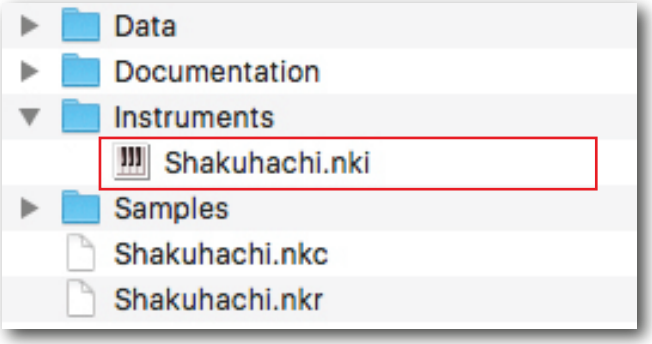


Key Trigger Connection ON 時　Key Trigger Connection について詳しくは 10 ページをご覧ください。



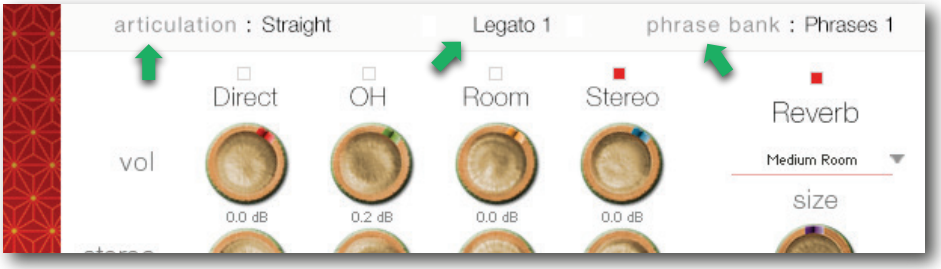
SHAKUHACHIの読み込み

Instrumentsフォルダの中にある Sonica SHAKUHACHI.nkiをKONTAKTのメインウィンドウにドラッグして開いてください。



3つのモニター表示

articulation　Legato　phrase bank



ウィンドウ上部にあるこの3つの表示は　mixページ・playページ・tuneページ・memoryページ全てで常に表示され、key switchで選択されている内容が常にモニターできるようになっています。

articulation

key switchで選択されたアーティキュレーション(奏法)名が表示されます。key switchはKONTAKTのキーボードで確認できます。

Legato

key switchで選択されたレガートの種類が表示されます。key switchはKONTAKTのキーボードで確認できます。

phrase bank

key switchで選択されたフレーズバンク名が表示されます。key switchはKONTAKTのキーボードで確認できます。

articulation 収録内容とKey Switch

Key Switch	Articulation Name	奏法名	Key Trigger Connection
C0	Straight	ロングトーン	
C#0	Tonguing	タンギングつきロングトーン	
D0	Grace Note	装飾音つきロングトーン	
D#0	Portamento Up	ポルタメント	
E0	Straight and Atari	アタリつきロングトーン	
F0	Sfortzando	スフォルツァンド	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
F#0	Uchi and Oshi	打ち&押し	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
G0	Yuri 1 (Vibrato Horizontal)	縦ユリ 1	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
G#0	Yuri 2 (Vibrato Virtical)	横ユリ 2	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
A0	Yuri 3 (Vibrato Virtical Long)	横ユリ 3	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
A#0	Iki-Yuri 1(Vibrato with Breath)	息ユリ 1	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
B0	Iki-Yuri 2 (Vibrato with Breath Fast)	息ユリ 2	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
C1	Muraiki 1 (Breath FX1)	ムラ息 1	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
C#1	Muraiki 2A (Breath FX2A)	ムラ息 2A	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
D1	Muraiki 2B (Breath FX2B)	ムラ息 2B	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
D#1	Muraiki 3 (Breath FX3)	ムラ息 3	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
E1	Tamane (FX with Tongue Trill)	玉音	◯ サスティンペダル(CC#64)でON/OFF
F1	Karakara (FX with Finger)	カラカラ	
G1	Korokoro (FX with Finger)	コロコロ	
A1	Improvisation	インプロビゼーションフレーズ	

Legato 収録内容とkey switch

Key Switch	Articulation Name	奏法名
F#1	Slow Legato	スローレガートアップ/ダウン
G#1	Fast Legato	ファストレガートアップ/ダウン
A#1	Atari Legato	アタリつきレガート

phrase bank 収録内容とkey switch

key switch	Phrase Bank Name	フレーズバンク名	フレーズ数
C6	Short Phrase 1	フレーズ集 1	8
C#6	Short Phrase 2	フレーズ集 2	8
D6	Short Phrase 3	フレーズ集 3	8
D#6	Short Phrase 4	フレーズ集 4	6
E6	Short Phrase 5	フレーズ集 5	5

mix

このページでは基本的な音作りを行います。

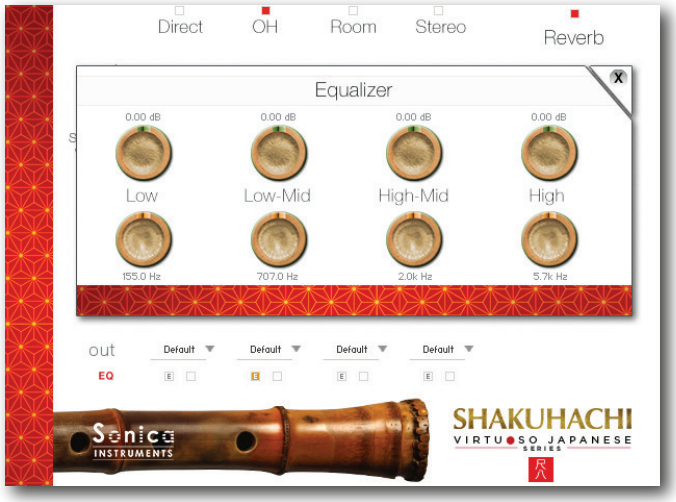
Audio Mixer

Direct、OH(OverHead)、Room 3種類のステレオマイクポジションと、マルチマイク音源をあらかじめバランスよくミックスされた**Stereo Mix**をミキシングできます。
マルチマイクのチャンネルがONの時は“Stereo”はOffになり、逆に“Stereo”がOnの時はマルチマイク・チャンネルはOffになります。

vol：各チャンネルの音量をコントロールします。
stereo width：ステレオマイキングの広がりを調整します。100%でオリジナルの広がりに、0%でモノラルになります。
注：Directチャンネルはモノラルで収録されているため、このノブは動きません。
pan：各チャンネルのpanpotを調整します。
rev：各チャンネルのコンボリューション・リヴァーブへのセンド量を調整します。
out：各チャンネルのオーディオ出力先を選択します。お使いのDAWへマルチ・チャンネルの状態で取り込む時に便利です。

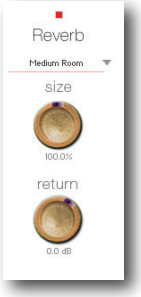
○マルチ・アウトプットの作り方はKONTAKTのマニュアルをご覧ください。
アウトプットを作成した後、KONTAKTのインターフェース右上の「！」ボタンをクリックすると、SHAKUHACHIのoutメニューに作成したアウトプットが反映されます。

EQ：各チャンネル2搭載された4band Equalizerを調整します。左ボタン [E] をクリックするとEqualizerウィンドウがポップアップされます。右のボタンでEqualizerのON/OFFを行います。



Reverb

28種類のコンボリューション・リヴァーブを選択できます。
size：Reverb Timeを調整します。
return：Reverb成分の音量調整

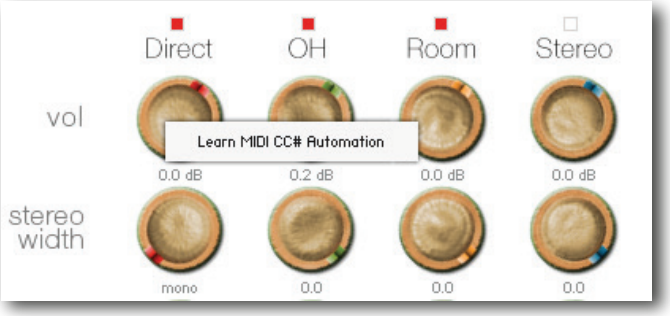


MIDI CC# Learning機能

全てのコントロールノブはMIDI CC(Control Change)で個別にコントロールできます。

Learn MIDI CC#の設定方法

1.ノブを右クリックし “Learn MIDI CC# Automation” を表示
2.コントロールに使いたいMIDIコントローラーの操作子を動かす
3.設定完了



MIDI CC# Automationのリムーブ

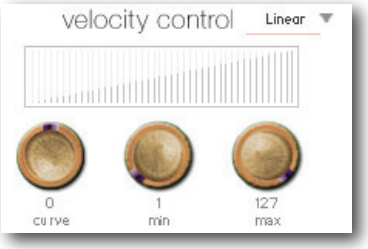
設定を削除するには “Remove MIDI Automation CC# nn” を行ってください。

play

このページでは尺八の演奏コントロールと音色のニュアンスを設定します。

Envelope

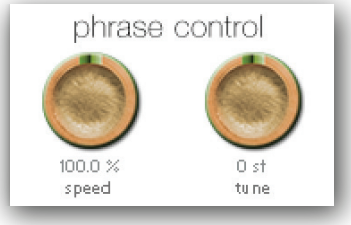
アタックタイムとリリースタイムを調整します。



Velocity Control

Curve Type : Linear, S-Curve, Compound, Fixed, User

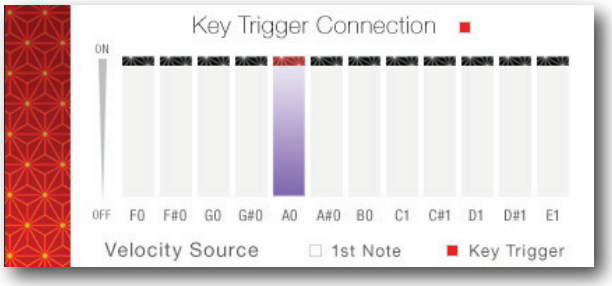
curve : 選択したカーブに変化をつけます。
min : 発音するvelocityの最小値
max : 発音するVelocityの最大値



Phrase Control

5つのフレーズバンクから選択されたフレーズの
スピードとファインチューンを調整します。

Key Trigger Connection

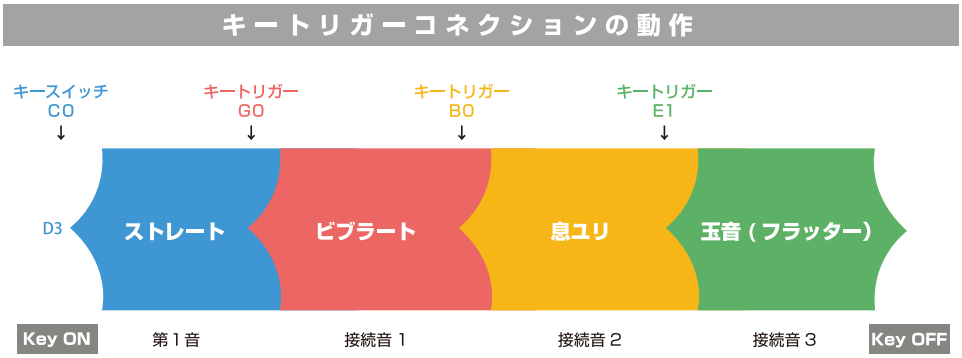


Key Trigger Connectionはこの製品の最も重要な機構といえます。

Key Trigger Connectionは、従来のキースイッチでの表現を遥かに凌ぐ、ごく滑らかなアーティキュレーションコントロールを可能にします。 弾いた音を途切れさせることなく、ビブラートやムラ息など多彩なアーティキュレーションへと自由に変化させていくことができるのです。

この動作は鍵盤を押している間、任意の アーティキュレーションへ何回でも接続することが出来ます。

またこの機能のON - OFF はサスティンペダル(CC#64)に連動しており、Key Trigger Connectionを使いたい時に瞬時にアクティブにすることができ、エモーショナルな演奏表現に役立ちます。



音が途切れることなく、アーティキュレーションが滑らかに接続します。

Velocity Source

Key Trigger Connection によって接続されたアーティキュレーションのヴェロシティのソースを選択します。

1st Note : 最初のキーオン時のヴェロシティを受け継いで次のアーティキュレーションへ接続します。
Key Trigger : 接続するアーティキュレーションを Key Trigger のヴェロシティで発音します。接続時のニュアンスを付けるのに適しています。

Blow Control

リードの息音のみの状態から力強い実音までコントローラーで変化させます。
初期設定ではModulation Wheel (cc#1)とBreath Control (CC#2)が割り当てられています。Breath Control (CC#2)はアサインを外すことができません。
サンプルベースでありながらも、滑らかでダイナミックな息づかいを表現することができるため、さながらウィンドコントローラーのような感覚で鍵盤演奏が可能です。

noise level：吹きノイズ量の調整
balance：実音と吹きノイズのバランス調整

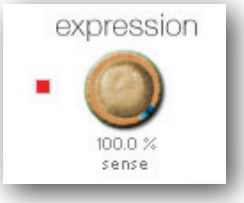
1.8/2.3 Division

低域をカバーする二尺三寸（A管）の尺八と代表的な一尺八寸（D管）の尺八の音域切り替えを調整します。（ロングトーン、タンギング、レガート奏法のみ）。
二尺三寸の最高音域のノート名が表記されています。

Pitch Bend

ピッチベンドの幅をアップ・ダウン個別に調整出来ます。

Expression



ヴェロシティによる音色の変化度合いを調整します。

Tune

尺八の演奏可能音域について、全クロマチックピッチを個別にチューニングでき、チューニングプリセットファイルとして保存出来ます。
保存したプリセットはSlot A, B, C 3つのスロットにLoadすることが出来ます。

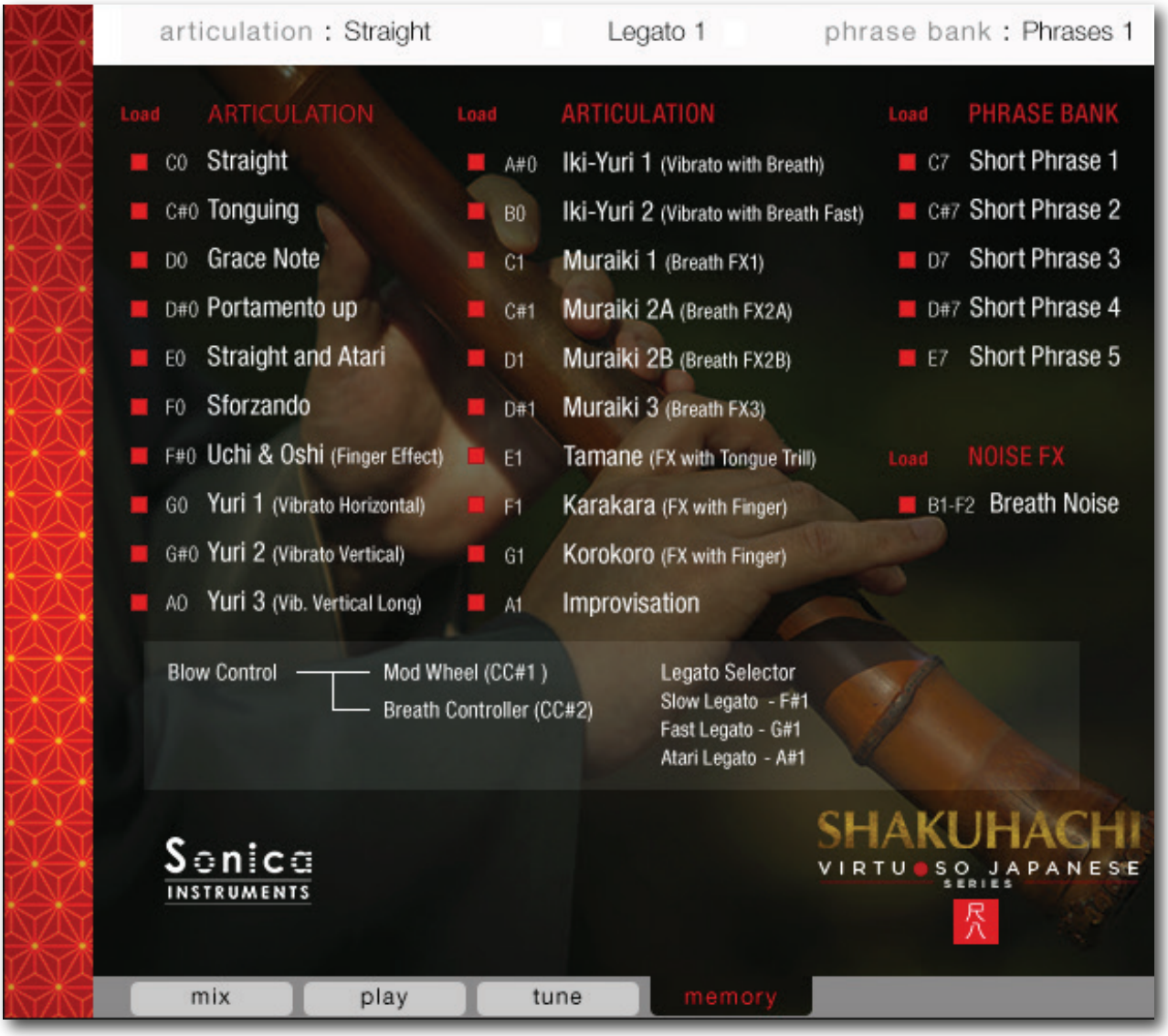
Reset All：設定したチューニング値を全てクリアします。

Humanise: ノブを調整し、左隣のボタンを押すと、設定された数値内でランダマイズされたチューニング値が瞬時に割り当てられます。

memory

このページでは全アーティキュレーションと全フレーズバンクについて、サンプルの読み込みを設定、KONTAKTでの使用メモリーサイズを調整します。リストのLoadボタンをOFF（消灯）させると、そのアーティキュレーションは無効になり、メモリーサイズが軽減されます。

下段には使用頻度の高いMIDIコントロールチェンジナンバー、レガートセレクターのキーナンバーを表示してあります。



Credits

Production, Recording, Editing and Kontakt Development: Sonica Instruments
Shakuhachi Played by Ray Jin
GUI Designer: Yujin Ono

Executive Producer: Tomohiro Harada
Kontakt Programming: Rataro. M (Think Master Inc.)
Marketing, Translation & Production Consulting: Craig Leonard
Audio Editing: Yoshitaka Koyama

Recording Engineer: Keigo Sonoda (Pastoral Sound)

Photography: Takashi Matsuda
Music Video: Yasuhiro Nakashima
User's Manual: Yoshifumi Yamaguchi (LRCOT)

Copyright 2017 © Sonica Inc. All rights reserved.

Sonica Instruments
www.sonica.jp/instruments/

Sonica INSTRUMENTS

この書類に記載の情報の著作権は株式会社ソニカ（Sonica Inc.）に帰属します。
複製、公衆送信、改変、切除、ウェブサイトへの転載等の行為は著作権法により禁止されています。
また、この書類の情報は、予告なく変更または削除する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

All copyrights and various intellectual property rights associated with the information contained in this document are owned and controlled by Sonica Inc. Copyrights and various intellectual property rights laws expressly prohibit the reproduction, public distribution, alteration, revision, or publication of this document on any other Web site or in other medium.

The information contained in this document is subject to change or deletion without prior notice.